

# 共通仕様書

## 1 総則

特記仕様書に記載している事項の他、一般的な事項は本仕様書による。

本仕様書に定めのない事項については、次の基準によるものとする。

(1) 公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）（最新版）

(2) 福岡県建築都市部営繕設備課及び県営住宅課「工事の手引き」（最新版）

なお、本仕様書と上記基準に相違がある場合は、本仕様書を優先するものとする。

また、上記基準の適用にあたっては、本工事の規模及び実態に応じ、発注者と協議のうえ適切に運用するものとする。

## 2 法令、規則関連規定

業務に伴い適用を受ける法令、規則、基準、指針、資格等についてはこれを遵守し、遺漏のないようにすること。

## 3 現場責任者の資格

業務のうち法令上規制のあるものについては、有資格者のうちから現場責任者を定め、適切な配置をしなければならない。

## 4 業務員の資格

業務に携わるものであって、法令上規制のあるものについては、有資格者がその取扱いをしなければならない。

## 5 使用機器及び材料

業務に使用する機器、工具、材料は、品質良好のもので、規格等指定のある機器、工具及び材料は規格品を使用し、使用できない材料は敷地外に搬出しなければならない。

## 6 工事の工程

現場責任者は、工事の実施に先立ち、工事の工程表を作成し、担当職員の確認を受けるものとする。

工事の工程に変更の必要が生じ、その内容が重要と判断されるときは、変更工程表を作成し担当職員の確認を受けること。

## 7 諸手続き

現場責任者は、業務履行上関係のある諸法令、条例及び規則を遵守するとともに、定められた必要な官公署等への連絡及び手続きは遅滞なくこれを処理し、手続き書類等を担当職員に提出すること。その際の経費は、一切受注者の負担とする。

## 8 担当職員の立会い

現場責任者は、担当職員の指定する業務及び全ての作業終了後には、担当職員の立会いを求め、検査を受けること。ただし、担当職員が承認した場合は、立会いによらず記録等により確認を受けること。

## 9 安全確保

- (1) 現場責任者は、工事に係る安全管理について、労働安全衛生法等関係法令を遵守の上、受注者の負担で安全確保に必要な措置を徹底すること。
- (2) 機器搬入及び資材運搬時等において、受注者の負担で誘導員や監視員等を適切に配置し、安全確保に努めること。
- (3) 高所作業においては、墜落制止用具の使用等、墜落防止のための適切な安全管理を行うこと。
- (4) 工事中に発生した事故については、受注者の責任及び費用負担で対応すること。
- (5) 作業員は、常に整理整頓を心掛け、作業終了時には速やかに後片付け清掃を行い、現場責任者の確認を受けること。
- (6) 他の施設管理業務と競合する場合、現場責任者は担当職員の指示に従い、他の施設管理業務の現場責任者と協力し、施設管理業務全体の円滑な進ちょくを図ること。

## 10 危害及び損害の予防

- (1) 業務の実施に当たっては、財団又は第三者の人畜、施設又は備品に危害又は損害を与えないように現場責任者は万全の措置を行うこと。
- (2) 危害若しくは損害を与えた場合又はその恐れのある場合には、現場責任者は直ちに担当職員に報告しその指示を受けること。
- (3) 万一危害又は損害を与えた場合は、被害の状況に応じ、受注者の責任及び費用負担において適切な対応を行うこと。

## 11 養生

工事中に汚染、損傷のおそれのある材料及び箇所は、適切な方法により養生すること。  
また、作業中は粉じんの飛散に十分留意し、適切に養生を行い、作業終了後には清掃を行うこと。

## 12 疑義が生じた場合

図面と仕様書の内容が相違する場合、明記のない場合、その他疑義が生じた場合は事前に担当職員と協議し、その指示によるものとし、独自の判断で施工してはならない。

## 13 軽微な設計変更

現場の納まり、取り合わせ、その他の関係で材料の取付位置または取付工法を多少変更する等軽微な変更は、担当職員の指示により行うことができる。

## 14 暴力団等による不当介入の排除対策

- (1) 受注者は、当該工事の施工に当たって、暴力団等から不当要求を受けた場合は、毅然として拒否し、その旨を速やかに担当職員に報告するとともに、所轄の警察署に届出を行い、捜査上必要な協力を行わなければならない。
- (2) 暴力団等から不当要求による被害又は工事妨害を受けた場合は、速やかに担当職員に報告するとともに、所轄の警察署に被害届を提出しなければならない。
- (3) 排除対策を講じたにもかかわらず、工期に遅れが生じる恐れがある場合は、速やかに担当職員と工期に関する協議を行わなければならない。
- (4) これらの事項に違反したことが判明した場合には、厳正に対処するものとする。

## 15 作業員の服務規律

- (1) 作業員は、作業時間中あらかじめ財団の了解を得た服装又は名札を着用し、作業員であることを明瞭にすること。
- (2) 現場責任者は、作業実施中に作業員を指揮し、寮監及び担当職員と連絡を密にし、遺漏のないように努めること。

## 16 工事時間等

- (1) 施設は供用中であり、職員、入寮生及び学生会館利用者への影響を最小限とすること。
- (2) 作業時間は、原則として平日9時から17時までに行うものとする。ただし、試験期間中やその他の事情により施工が難しい場合があるため、寮監と事前に十分な調整を行うこと。

## 17 周知・案内

- (1) 工事に伴う騒音、振動、停電等の影響について、事前に職員及び入寮生への周知を行うこと。
- (2) 必要に応じて近隣住民への周知・案内を実施すること。
- (3) 周知に当たっては、チラシの配布及び掲示等により適切に行うこと。

## 18 その他

- (1) 作業に入る前に必ず寮監事務室に立ち寄り作業の内容を十分に打ち合わせること。
- (2) 施工場所での喫煙は厳禁とし、発注者が指定する場所以外には立ち入らないこと。
- (3) 現地条件に応じた軽微な変更については、受注者の負担において対応するものとする。
- (4) 新築時の図面が十分に整理されておらず、現存する設計図面が不完全である。このため、受注者は現地調査を十分に実施した上で積算及び工事を行うこと。